

平成23年11月14日

各位

ティーエルロジコム株式会社  
代表取締役社長 鎌田正彦

## 「内部統制システムの構築に関する基本方針」の一部改訂について

当社は、平成23年11月14日開催の取締役会において、内部統制システムの構築に関する基本方針につき、下記の通り同方針の一部改定を決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、変更箇所に関しましては、下線にて表示いたしております。

### 記

1. 取締役・従業員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

(1) 当社は、取締役および従業員に対してSBSグループにおけるコンプライアンスを定めた「SBSグループコンプライアンス規程」の周知を図り、法令（行政上の通達・指針等を含む）、定款および企業倫理の遵守を徹底させると共に、当社の取締役および従業員の業務遂行上の具体的な行動の原則、基準となる「企業行動規範」を定める。

(2) コンプライアンス担当事務局を総務部に置き、管理本部長は親会社が主催する「グループコンプライアンス委員会」に出席し、情報共有を行う。

(3) コンプライアンス担当事務局は、全社の取り組み状況を統括し、取締役・従業員に対する教育、研修を行うものとする。また、その結果については、定期的にと取締役会および監査役に報告することとする。

(4) 重要な非通例的取引、重要な会計上の見積り、会社と取締役との取引、子会社との取引等については、取締役会の決議を要するものとする。

(5) 代表取締役等は、コンプライアンス、適切なリスク管理体制確立のための取り組みの状況(内部通報の状況を含む。)につき、重大な不正事案等が発生した場合には直ちに取締役会に報告するものとする。

(6) 財務報告の信頼性を確保するために、「財務報告の基本方針」に定める原則や行動指針を適切に実行し、財務報告に係る内部統制を適正かつ効率的な体制とする。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

(1) 稟議事項については、稟議規程にもとづき、また、その他の文書については文書取扱規程により保存・管理を行う。

(2) 情報の管理・保全については、情報セキュリティ管理規程の定めるところによる。

### 3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 「SBSグループリスク管理規程」に基づき、当社が対応すべきリスクを洗い出しその対応策を実施し、リスクによる損害や損失の予防と最小化を図る。
- (2) 「ティーエルグループ リスク管理委員会規程」に従い、管理本部長を長として「ティーエルグループ リスク管理委員会」を設置し、リスクの選定・分類・分析・評価を行い、有効なリスク対応の仕組みを構築し、維持する。
- (3) 「ティーエルグループ リスク管理委員会」の事務局は総務部とし、年1回以上 委員会を開催するとともに、役員・従業員に対してリスク管理に関する教育・研修を実施する。
- (4) 大規模な事故、災害、不祥事等が発生した場合には、総務部は、直ちに親会社にその内容を通報し、指示に従いその対応にあたる。

### 4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会の権限は、経営方針およびその他経営に関する重要事項の決定と監督機能の強化など経営機能に限定し、業務執行は、執行役員に担当業務分野ごとに権限を委譲して、執行責任の明確化と経営の意思決定の迅速化を図る。
- (2) 執行役員等を中心とする経営会議を毎月1回開催し、事業戦略の方針、重要な業務の執行に関する事項などについて、経営方針の実務的観点から協議する。

### 5. 当社および子会社ならびに親会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 「SBSグループ行動憲章」を受け、当社および子会社は、業務の適正化のためコンプライアンス、リスク管理に関する規程および体制の整備を行い、役員・従業員への浸透を図る。
- (2) 子会社の管理にあたっては、「子会社管理規程」により経営企画部が統括し、経営協議会や事前協議制度に基づき業務の適正化を行い、責任と権限の明確化を図る。
- (3) 当社とグループ会社を含めた適正な財務報告作成のため、グループ間取引の適正を図るための必要な措置をとる。
- (4) コンプライアンス担当事務局は、子会社における「SBSグループコンプライアンス規程」の取組み状況について、定期的に報告を受け、改善、指導、教育にあたる。
- (5) 法令・定款およびコンプライアンス違反に関して当社グループの従業員等がその事実を知ったときは、「内部通報規程」に定める通報先へ通報する。

### 6. 監査役がその職務を補助すべき監査スタッフを置くことを求めた場合における当該監査スタッフに関する体制

監査役は、職務を補助すべき監査スタッフを置くことができるものとする。その人事に関する事項については、取締役は、監査役の意見を聞き、それを可能な限り尊重するも

のとする。

7. 取締役および従業員が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

(1) 取締役および従業員は、法令に違反する事実、または会社に著しい損害を与える恐れのある事実を発見したときは、当該事実に関する事項を「監査役ホットライン」等を通じて速やかに監査役に報告するものとする。

(2) 取締役および従業員は、監査役から業務執行に関する事項の報告を求められた場合は、速やかに報告を行うものとする。

(3) 監査役は、取締役会のほか、重要な会議に出席できることとする。また、各種会議の議事録、その他の文書を閲覧することができる。

(4) 監査役は、会計監査の有効性を確保するため、会計監査人の監査計画については監査役が事前に報告を受けることとする。

8. 監査役の監査が実効的に行われることを確保する体制

監査役は、取締役社長、会計監査人とそれぞれ定期的に意見交換する会議を開催する。

9. 反社会的勢力排除に向けた基本的体制

当社は「SBSグループ企業倫理規程」および「SBSグループ反社会的勢力対策規程」ならびに「SBSグループ行動憲章」を遵守することにより、反社会的勢力に対しては毅然とした態度で臨み、一切関係を持たない。

平成18年 5月15日 決議

平成20年 9月 8日 改定

平成23年11月14日 改定